

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006. 11. 29

参加者 倉橋（西大寺南小）松本（行幸小）福井（中央小）

2006年最後の例会です。松本先生が冬季研修会に向けて新しい提案を模索しています。学校という職場の多忙化のなか、理科離れ(教師の?)が進む現状を打開するには、従来の研究スタイルを踏襲していたのではいけない。指導案の枝葉末節な文言にとらわれず、実践的かつ本質的な提案にしたい…。現段階ではエポックを集めただけの状態であり、まだ新しい何かをつかもうともがいているようですが、この発表はひとつの通過点として、より高い境地に達することを期待しています。



【食玩『王立科学博物館』もショーケースで展示】 福井

先週から食玩の展示にはまっています。ショーケースに入れると何となく立派に見え、おまけに触られて壊される危険が少なくなるので理科室の展示に向いています。添付の説明書もカラーコピーで拡大し、ラミネートして掲示しました。理科室の前では、いつも何人かの子が熱心に読んでいます。授業以外の方法でも理科好きは育ちます。



【コインツイスターバンク】 福井

上部の滑り台からコインを投入すると、漏斗状の管の内壁をコインが回転しながら落ちていきます。よく見ると10秒程度で落ちる時と20秒以上回転する時とがあります。倉橋先生はどうすれば長時間回り続けるか、しばらく試行錯誤して発見しました。問題意識を持って探求すると、ものの本質が見えてくるし、発見の喜びも大きいという良い例でした。



【伊東家の食卓『あそべま集』は使えます】 倉橋

伊東家の食卓からはたくさんのネタ本がでていてどれも面白いのですが、視聴率が高いだけに学級でやると「それ知ってる!」の大合唱になるので敬遠してきましたが、そろそろ古いネタは知らない子供が多くなってきたので、これからドンドンできます。



【水差し・水晶玉・金属探知器・オブジェ】 福井

空き缶で作る水差しは兵庫の大西さんの作品。管を美しい曲線で曲げて加工しているのが素晴らしい。



【真空容器・消しゴムの寿司】 松本

真空容器はノーブルトレーダース（株）のバキュームコンテナ(Vacuum Container)で、フタの側面にあるレバーを引くと空気が抜けるスグレモノ。中に色々な物を入れて真空にすることで、空気の性質の学習に使えそうです。寿司の形をした消しゴムは100円ショップで購入したのですが、ゲームの駒として授業でも利用できるそうです。

